

	シーズ名	骨粗鬆症に対する腸内細菌の関与
	氏名・所属・役職	灘谷 祐二 先端医療予防学 講師
<p><概要></p> <p>近年腸内細菌叢の解析が簡便に行えるようになり、腸内細菌叢の異常が様々な疾病の悪化因子であることが明らかになってきた。本研究では、高齢女性で高頻度で発症する骨粗鬆症に対して、腸内細菌叢の是正に着目した新しい治療法、予防法を開発することを本研究の目標とする。</p> <p>具体的には①骨粗鬆症患者での腸内細菌叢の変化を明らかとし、骨粗鬆症患者に特異的な細菌叢を同定する。②抗生剤投与、プロバイオティクス治療、腸内細菌移植などの簡便な手段で、腸内細菌叢に介入することで、骨粗鬆症の予防、早期治療が可能であることを証明する。本研究により、現在のガイドラインでは長期治療や予防法が存在しない骨粗鬆症に対して、新機軸からの早期予防、治療法が確立することを目標としており、低コストな国民の健康寿命延長につながる治療法が開発可能であると考えている。</p> <p><アピールポイント></p> <p>腸内細菌叢と関連し、乳酸菌製剤、もしくは抗生剤が骨粗鬆症に与える影響を検討した論文は実験動物レベルでは報告が少数存在する。すべてが動物モデルでの検討であるが、結果は様々であり未だ議論をされている分野である。加えて腸内細菌叢を直接検討した研究や、ヒトでの影響を検討した研究は存在しない。そのため、本研究では、人検体および動物モデルでそのメカニズムも明らかにする予定である。</p> <p><利用・用途・応用分野></p> <p>検診部門における細菌叢による将来的な骨粗鬆症のリスクの予測や、細菌叢介入による骨粗鬆症の改善予防方法の開発。</p> <p><関連する知的財産権></p> <p>なし</p> <p><関連するURL></p> <p>https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-17K15962/</p> <p><他分野に求めるニーズ></p> <p>低コストで侵襲の少ない消化管細菌叢の解析方法など。</p>		
キーワード	骨粗鬆症、腸内細菌、予防医学	